

はまゆう

第 67 号
 令和 7 年 3 月 発行
 発行所

 社会福祉法人高和会
 障害者支援施設
 はまゆう園
 〒882-0104
 宮崎県延岡市北方町角田丑 1369-35
 TEL (0982) 47-3481
 FAX (0982) 47-2822
 E-mail : k-hamayuu@ma.wainet.ne.jp

利用者の皆様が作った作品です。
 本年度も賑やかな作品がたくさんできました。



目次

- ・利用者作品
- ・クリスマス会
- ・令和6年度を振り返って
- ・全国スポーツ大会優勝



クリスマス会

はまゆう園 (入所・通所合同)

12月20日

はまゆう園では、ストラックアウト・カルタ取り・福笑い等のゲームをグループごとに体験し、楽しい時間を過ごしました。利用者様全員で『あわてんぼうのサンタクロース』を歌い、代表者で『サンタが街にやってくる』『シングルベル』の手話発表もありました。最後にはサンタさんがプレゼントを配布。代表者が受け取りました。その後の会食では、豪華なお弁当に心がウキウキしました。



はまゆう園 生活介護恒富事業所

12月25日

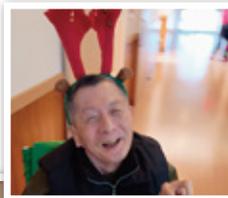
はまゆう園生活介護恒富事業所では、仮装やゲームを行ないました。ゲームの『箱の中身はなんだろな?』は、箱の中のもの触って周囲の利用者様から出るヒントに戸惑いながら回答者が答える為、大いに盛り上がりました。美味しいケーキもあり、楽しい1日となりました。



はまゆう園 グループホーム

12月14日

グループホームでは、美味しい食事を囲みながら、これまで練習してきたタンパリンの出し物やカラオケなどを披露しました。また、職員による寸劇やダンス、ギター演奏などをご覧になり、いつもと違う職員的一面を見れて利用者様は大喜びでした。





令和6年度を振り返って



のべおか障害者就業・生活センター

のべおか障害者就業・生活支援センターでは4名の職員が関係機関と協力し、就業と日常・社会生活の支援を行なっています。今年度は12月現在ですが、36人の方の就職を支援しました。また、就職後1年経過時点の定着率は90.7%と上がっており、大きな実績となっております。職員一同、就職がゴールではなく、その後の安定した生活や豊かな人生が送れる事を願って、ご本人様、企業、関係機関と連携しながら取り組んでいます。



職場見学にて、企業説明を真剣に聞いています。



県の委託訓練を終えて、就職できました！

そうだんサポートセンター はまゆう

そうだんサポートセンターはまゆうは4名の相談支援専門員が、子どもから大人まで、障害のある人達が自立した日常生活、社会生活を営むことができるように、障害福祉サービスなどの利用計画の作成や地域生活への移行・定着に向けた支援、住宅入居等支援事業や成年後見制度利用に関する支援など、障害のある人達の全般的な相談支援を行なっています。

また、宮崎県から委託されている「療育等支援事業」を利用して、子どもの事で気になることの相談、「就学や進路、就職、福祉サービスを利用したい」などについても、対応しています。



延岡市西部地域 基幹相談支援センター



基幹相談支援センターも開所時に比べるとたくさんの方に来所していただくことも増えました。相談件数も子どもから大人の相談も年々増えています。今年度は依存症(ギャンブル、アルコール等)の相談もありました。地域の方々からも温かい言葉をいただきながら、私たちが心がけている「丁寧な支援」が少しずつ浸透していると感じています。

また、地域の皆様と連携して支援に取り組む事も増えてきました。ある家庭の生徒の支援をおこなったり、福祉サービスを受ける家庭の事前の生活支援に取り組んだり様々なケースがありました。来年も地域に根差した相談支援を引き続き取り組んでいきたいと思ひます。

合同研修会



令和6年9月6日、延岡市西部地域基幹相談支援センター、のべおか障害者就業・生活支援センター、そうだんサポートセンターはまゆうの三機関で合同研修会を開催しました。今回の研修では「つなぐ むすぶ ひろがる」をテーマに掲げ、教育機関、福祉事業所、一般企業など未就学期～成人期までの幅広い分野の方々、約80名にご参加いただきました。

第1部ではオリジナル動画を通し、障がいのある方がどのような社会資源や福祉サービスなどを経て、自分らしい人生を歩んでいくのかを紹介しました。

第2部では、第1部で流した動画を基に、参加された方々が、それぞれの専門性を活かした支援方法について、グループワークを行いました。多種多様な職種の方々が集まる事により、各分野の取り組みについて何う事ができました。またバラエティに富んだ活発的な意見交換がなされ、顔の見える関係づくりにも繋がったと感じました。

今回の研修会で繋がった福祉の輪を貴重な財産とし、今後も関係機関と連携しながら地域福祉に貢献していきたいと思ひます。



令和6年度を振り返って



障害者支援施設 はまゆう園

今年度は、感染症対策を行いながら以前のように行事や活動に取り組めた1年となりました。計画している行事を中止することなく、体育祭や収穫祭、ピアガーデンなど利用者様やご家族の皆様と一緒に楽しむことができました。また、恒例となりましたコメヤ様の訪問販売のほか、今年度、新しい取り組みとして、株式会社チヨダ様に靴の訪問販売に来ていただきました。スタッフの方にサイズを測定していただき、たくさんの靴の中から好きな色やデザインのものを選んで試着、購入することができました。



はまゆう園 多機能型事業所

今年、『利用者様と一緒に』をテーマに活動計画を立て、利用者様と共に楽しみ、学び、チャレンジした1年でした。畑を耕作し種を植え、育てて収穫を行い、調理して食べてみたり、収穫祭のステージ発表に向け、ダンスと手話の練習をしたり、また、宮崎市で開催された「木下大サーカス」を見に行ったりと、忙しくも、みんなで楽しみを求めて活動し続けた、笑顔の絶えない、はまゆう園多機能型事業所でした。

感染症という脅威は、未だ変わりませんが、日々気を付けながら、これからも利用者様と一緒に「楽しみ・学び」を探求して行けたらと思います。



令和6年度を振り返って

はまゆう園生活介護 恒富事業所

今年度は月に1度外部講師を招いて習字教室を実施し、多くの利用者様が楽しく参加されました。

また、できあがった作品を展示し事業所内にもぎやかになりました。その他、季節の行事や外出活動、運動会や収穫祭といった法人行事にも参加し、利用者様のたくさんの笑顔が見れた1年でした。

最後に地域住民の方々には、沢山のご理解・ご協力を頂きました。ありがとうございました。



はまゆう園多機能型 恒富事業所

今年度も利用者様は、清掃作業を中心にクッキーやふすまの張替えなど色々な作業に参加されました。一般企業には2名の方が就職し活躍されています。

また、当事業所におきましては、定期的に地震や大雨による被害に備え、防災研修を利用者様と一緒に実施しています。その他、宮崎市フェニックス自然動物園へ日帰り旅行に出掛け利用者様も大変楽しまれていました。

来年度も利用者様が「明日も来よう」と思えるような事業所であり続けるよう職員一丸となって頑張っていきます。



令和6年度を振り返って

はまゆう園 グループホーム

ホームでは年初からコロナが感染拡大し、改めてコロナとの共存の難しさを再確認する年明けとなりましたが、春先には穏やかな陽気そのままに利用者様の生活は落ち着きを取り戻し、4月にはお花見会を開催することができ、その後も食事会やウォーキング、旅行など、季節の移り変わりとともに余暇活動を楽しむことのできた1年となりました。

また、7月には延岡市で初となる日中サービス支援型グループホーム「地域生活支援事業所たいよう」を開所しました。このサービスの最大の特徴は日中もホームで過ごすことを選択できることであり、これにより利用者様の高齢化・重度化に対応することが可能となりました。現在は全16名の利用者様のうち6名がホームにてバラエティーに富んだ健康的な日中活動を楽しんでいます。



おめでとうございます!

はまゆう園グループホームに所属している大谷翔太さんが、10月26日に開催された全国障がい者スポーツ大会競技フライングディスクに出場し、見事1位になりました。

また2027年に宮崎県で開催される第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会に向けて、延岡市読谷山市長を表敬訪問し、意気込みを語られました。

皆様、応援お願い致します。

